

平成26年10月1日

社団法人 日本外食品卸協会

TEL 03-5296-7723

次回の理事会、秋季講演会及び情報交流会は11月19日(水)に開催予定

外食協は、標記理事会等を11月19日(水)に開催することで先月号においてもお知らせしました。
理事会は、①日時:同日13~15時、②場所:KKR HOTEL TOKYO、③議題:(1)平成26年度外食産業フェアの実施報告について(関係支部長報告)、(2)今後の協会運営について(討議)③その他、**秋季講演会**は、①日時:同日15時10分~16時30分、②場所:同ホテル、③演題:「成熟化する食品流通の変革(仮題)」、④講師:(株)野村総合研究所主席コンサルタント 辻 直志氏
情報交流会は、①日時:同日16時40分~18時30分、②場所:同ホテル、10階「瑞宝」の間

第65回外食産業フェア(大阪) 盛会裏に閉幕

外食協は、標記フェアを平成26年9月10日から同12日までの3日間、インテックス大阪3号館で開催した。初日の9時30分から開会式が行われ、主催者代表挨拶を尾家亮会長、来賓祝辞を矢花渉史農林水産省食料産業局食品製造卸売課長、出展社代表祝辞をカゴメ(株)小豆川裕男大阪支店長、開会宣言を大月近畿支部長がそれぞれ行った。テープカットも以上の4氏により行われた。今年の統一テーマは「美味しさとおもてなし! 食の祭典(月に一度は家族で外食を)」、また、今年も東日本大震災被災地支援のため「食べて応援しよう! - (東北コーナー)」が設けられた。出展社数は75社(前年75社)、出展小間数は161小間(前年159.5小間)、3日間の入場者数は、単独開催となったため半減し、6,784人(前年13,107人)であった。内容的には、今回から初企画の和・洋・中の有名シェフによる「メニュープレゼン」は盛況でお店の繁盛につながるフェアとして来場者に評価され閉幕した。

新規会員の加入申込書が提出された

次の社から外食協に、平成26年10月1日から正会員になりたい旨の加入申込書が提出された。
なお、正会員の加入については、定款の規定に基づき、平成26年11月19日に開催される理事会において、新規加入の承認がなされる予定。

正会員 アンキッキ協栄(株) 社長 梅田茂夫 大阪府茨木市桑原1-1 ☎072-641-7777

農林水産省「食品表示基準(案)」に関し、我が協会会員企業からヒヤリング

食品表示法は、食品を摂取する際の安全性及び一般消費者の自主的かつ合理的な食品選択の機会を確保するため、食品衛生法、JAS法及び健康増進法の食品の表示に関する規定を統合して食品の表示に関する包括的かつ一元的な制度を創設することでこの度法律が制定されたことはご承知のとおりです。この法律の運用規則等を定めるための「食品表示基準」の案が消費者庁から示され、パブリックコメントの意見募集とともに関係業界からの意見も聴取しているところであり、当協会に対しては、農林水産省食品製造卸売課からヒヤリングの要請があり、9月8日に株式会社久世の品質管理の担当職員に出席頂き意見陳述を行って頂いた。この件については、会員の皆様に直接関係することであり、今後も、引き続き情報の提供を行ってまいります。

[支部だより]

第25回NAGOYAフードビジネスショー(名古屋) 来場者1千人超増で盛会裏に終了、

標記フェアは、平成26年9月2~3日の2日間、名古屋市中小企業振興会館・吹上ホールで開催された。初日の9時40分から開会式が行われ、主催者代表挨拶を外食協・尾家亮会長及び共同開催の東海3県調理師会を代表し愛知県調理師会伊藤理夫会長、来賓祝辞を水間史人農林水産省東海農政局長及び松山登愛知県議会議員、出展社代表祝辞を味の素(株)島本達也名古屋支社長がそれぞれ行った。テープカットは以上の方々の外名古屋商工会議所森本和典理事、金森武東海北陸支部長で行われた。今年度も東海3県調理師大会との合同展として開催、特設会場では料理コンクールを実施し入賞者の表彰を行った。また、今回初めての試みである、日本料理、西洋料理、中国料理の調理師会会員が自慢の腕を振るったスペシャルメニューをワンコイン(500円)で提供する「ワンコイングルメ」も来場者に好評であった。更に、今年度も高知県から水産物等の地域特産物の出展とともに来場者へのこれの試食も好評であった。出展社数は93社(前年75社)、出展小間数103小間(前年80小間)、2日間の来場者数は4,286人(前年3,150人)で前年を大幅に上回り盛会裏に終えた。